

【緑地を楽しむ本】

土の大研究 —5億年の大地のなぞをさぐろう—  
楽しい調べ学習シリーズ



生きていく上で必要なもの…空気、水はすぐ頭に浮かぶが、土などは全く浮かばない。でも、土は月にも火星にもない、地球にしかない大切なものであると著者は述べている。月や火星にあるのは岩石が風化してできた

砂や粘土の堆積で、木や草を育てるような土はないのだそうだ。

今から 5 億年前までは、地球上にも土はなかった。そのころ海から陸に進出してきた生きものたち（苔や地衣類）が、岩石を少しずつ

分解していき、またそこに生きものの遺体や糞が微生物に分解されたものが混ざり合っただけで土ができてきた。つまり生きものが、土を作っているのだ。

土は植物の根を支えるだけでなく、養分や水を与えて植物を育てる。その植物を動物が食べて生きていくが、死ぬとまた土壌生物などに分解されて養分が土に戻る。土がなくては生きものは生きていけない。

そんな大切な土が、今、人間活動の影響で失われつつあるという。森林伐採、砂漠化、土壌汚染…世界 80 億の人口を支えていかななくてはならない現在、土に関してもっとよく知り、大切にしていけることが必要だ。 (小川)